

平成29年度  
環境活動レポート  
(平成29年8月1日～平成29年10月31日)



発行日：平成30年1月30日

有限会社 信成開発

## 目 次

1 組織の概要	1
1) 事業所名及び代表者名	1
2) 所在地及び電話番号	1
3) 環境管理責任者	1
4) 事業の内容	1
5) 事業の規模	1
6) 認証・登録の対象組織	1
7) 受託した産業廃棄物の処理量	1
8) 受託した産業廃棄物処理料金	1
9) 許可の内容	2
10) 施設等の状況	3
11) 廃棄物処理フロー	4
12) エコアクション21実施体制の組織図	5
2 環境方針	6
3 環境目標	7
4 環境活動計画	8
5 環境目標の結果及び評価	9
6 環境活動計画及びその取組結果とその評価、次年度の取り組み内容	10
7 環境関連法規等の遵守状況の確認結果並びに違反、訴訟等の有無	11
8 代表者による全体評価と見直しの結果	11

## 環境方針

### ○ 基本理念

有限会社信成開発は、武雄市をベースにした一般及び産業廃棄物の処理業並びに建築物解体工事業を通じて 自然との共生 地域環境の推進向上に努め地域社会から信頼される企業を目指します。

### ○ 環境方針

1. エコアクション21の取組により、車両・重機の効率的な使用等により省エネルギーに努めます。
2. 廃棄物の削減・リサイクルに努めます。
3. 水使用量の節減に努めます。
4. グリーン購入を推進します。
5. 当社の事業活動に関連する環境の法規制を遵守します。
6. 地域環境の保全に寄与するために、社会貢献活動に積極的に取り組みます。
7. 環境経営の継続的な改善を図ります。

制定 平成29年 8月 1日

改定 平成30年 3月 5日

有限会社 信成開発

代表取締役 野田信彦

## 1. 組織の概要

(1) 事業所名及び代表者名

事業所名 : 有限会社 信成開発  
代表者名 : 代表取締役 野田 信彦

(2) 所在地

- 有限会社 信成開発 〒843-0022 佐賀県武雄市武雄町大字武雄3410  
TEL 0954-23-6798 FAX 0954-23-5217
- 中間処理場 佐賀県武雄市武雄町大字武雄字淵ノ尾3410-17
- 安定型最終処分場 佐賀県武雄市武雄町大字武雄字淵ノ尾3410-1他50筆

(3) 環境管理責任者

山田 常廣 E-mail : sinsei-eigyo@angel.ocn.ne.jp

(4) 事業活動の内容

産業廃棄物収集運搬業  
産業廃棄物処分業(中間処理・安定型最終処分場)  
解体工事業  
自動車運送業  
不動産の売買・賃貸借及びその仲介業

(5) 事業の規模

資本金 300万円 設立年月日 1993年11月22日  
年商 49400万円 (2016年7月 ~ 2017年6月)  
従業員数 39人

(6) 認証・登録の範囲

当社は全組織・全活動を認証・登録の対象範囲としています。  
(産業廃棄物収集運搬・処分業、自動車運送業、解体工事業)

(7) 受託した産業廃棄物の処理量

項目	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度
収集運搬量	t	22,211	23,485	23,797
中間処理量	t	16,748	18,865	16,531
埋立処分量	t	5,471	4,620	4,232

(8) 受託した産業廃棄物処理料金

収集運搬・処分の料金は物品・量により異なりますので御見積もりいたします。  
お問合せ先:有限会社信成開発 TEL 0954-23-6798

## 9) 許可内容

### 産業廃棄物処分量

中間処理業	産業廃棄物の種類
焼却	紙くず及び木くず 以上2種類 (石綿含有産業廃棄物を除く)
圧縮・切断	金属くず 以上1種類(石綿含有産業廃棄物を除く)
破碎	廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず(空き缶に限る。)、ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず及びびがれき類 以上8種類(石綿含有産業廃棄物を除く)
圧縮・切断	廃プラスチック類、紙くず、繊維くず及びゴムくず 以上4種類(石綿含有産業廃棄物を除く)
溶融	廃プラスチック類(発泡スチロールに限る。)以上1種類(石綿含有産業廃棄物を除く)
最終処分量	産業廃棄物の種類
安定型	ゴムくず及びびがれき類並びに廃プラスチック類、金属くず及びガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず(自動車等破碎物を除く) 以上5種類(石綿含有産業廃棄物を含む)

### 産業廃棄物収集運搬

許可	佐賀県	福岡県	長崎県	熊本県
種類/許可期限	H.31.7.20	H.31.9.8	H.32.9.7	H.33.7.31
1 燃え殻	○	○	○	○
2 汚泥	○		○	○
3 廃油	○	○	○	○
4 廃酸	○	○	○	○
5 廃アルカリ	○	○	○	○
6 紙くず	○	○	○	○
7 木くず	○	○	○	○
8 繊維くず	□	○	○	○
9 動物性残渣	○	○	○	○
10 ゴムくず	○	○	○	○
11 鉱さい	○	○	○	○
12 がれき類	○	○	○	○
13 動物の糞尿	○	○		○
14 動物の死体	○	○		○
15 ばいじん(ダスト)	○	○	○	○
16 第13号廃棄物				
17 廃プラスチック類	○	○	○	○
18 金属くず	○	○	○	○
19 ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず	□	○	○	○
石綿含有産業廃棄物	○	○	○	○
産業廃棄物の種類	18種類	17種類	16種類	18種類

積み替え保管含む

### 積み替え保管の場所

所在地	武雄市武雄町大字武雄3410番17	武雄市武雄町大字武雄3488番6
産業廃棄物の種類	ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず(廃石膏ボードに限る)	繊維くず
保管上限	43.1m <sup>3</sup>	55.1m <sup>3</sup>
高さ	1.125m	1.5m
構造	鉄骨スレート造、コンクリート床	鉄骨スレート造、コンクリート床

## 10) 施設等の状況

用途	種類	台数
運搬車両	10tダンプ	1台
	10tテールダンプ	1台
	10t深ロングダンプ	1台
	10t回送車	1台
	10t平ボディ	1台
	4tダンプ	2台
	4t深ダンプ	3台
	4tアームロール	3台
	4tクラム車	2台
	3tダンプ	3台
	2tアームロール	1台
	4tパッカー車	1台
	2tパッカー車	1台
	3tダンプユニック	1台
	2t給油車	1台
	1.5tトラック	1台
軽トラック	1台	

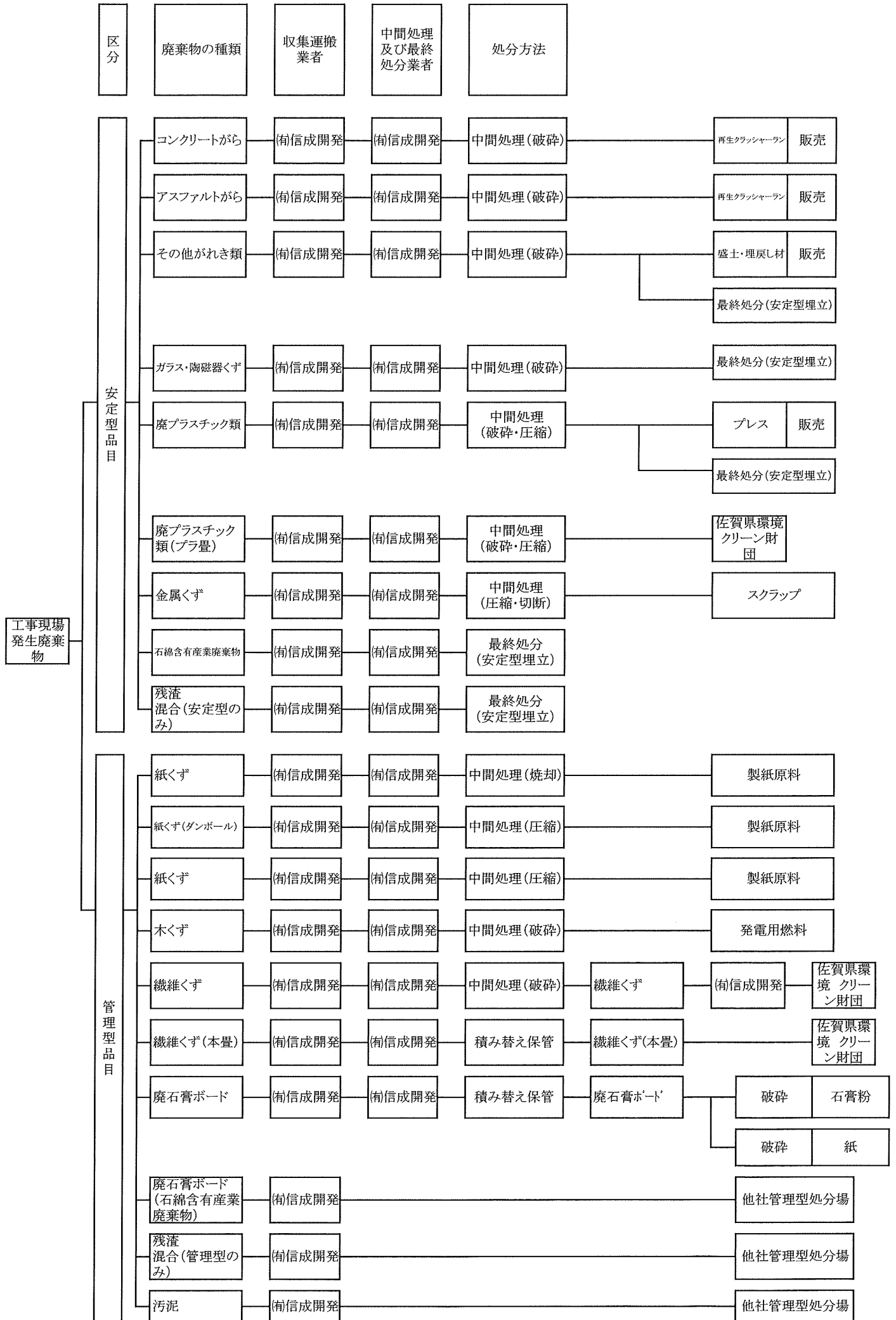
## 11) 産業廃棄物 積替保管施設の面積・保管上限量

所在地 佐賀県武雄市武雄町大字武雄字小淵ノ尾3410番17

佐賀県武雄市武雄町大字武雄字小淵ノ尾3410番1他50筆(安定型最終処分場)

種類	産業廃棄物の種類	処理能力
焼却施設	紙くず及び木くず	0.768t/日 (8時間)
圧縮・切断施設	金属くず	31.52t/日 (8時間)
破碎施設(固定式及び移動式)	木くず	800m <sup>3</sup> /日 (8時間)
破碎施設	がれき類及びガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず(廃石膏ボードを除く)	400t/日 (8時間)
	ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず(廃石膏ボードに限る)	4t/日 (8時間)
溶融施設	廃プラスチック類(発泡スチロールに限る)	0.18t/日 (9時間)
圧縮施設	廃プラスチック類	1.8t/日
	紙くず	1.8t/日
	木くず	2.7t/日
	繊維くず	1.8t/日
	ゴムくず	3.3t/日
	金属くず	1.6t/日
	ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず	13.4t/日
圧縮施設	廃プラスチック類	15.6t/日
	紙くず	14.1t/日
	繊維くず	17.4t/日
	ゴムくず	31.3t/日
安定型最終処分場	安定型産業廃棄物	埋立面積41,564.90m <sup>2</sup> 埋立容量681,636m <sup>3</sup>

11) 産廃フロー図



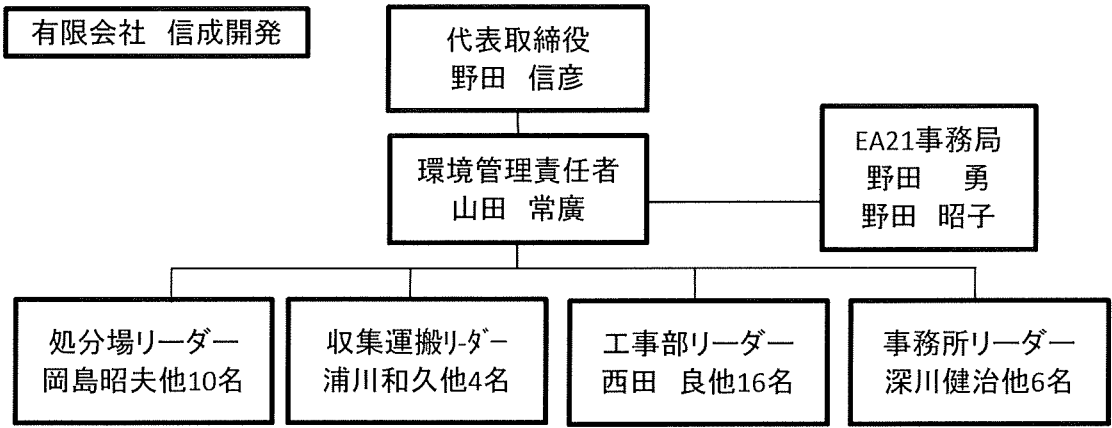
工事現場発生廃棄物

安定型品目

管理型品目

作成日	2017/8/1
作成者	山田 常廣
承認者	野田 信彦

実施体制図



【役割と権限及び責任】

<p>1.代表取締役</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境方針を策定する。</li> <li>・環境管理責任者を任命する。</li> <li>・環境目標及び環境活動計画を承認する。</li> <li>・環境経営システムの構築、運用、環境目標及び行動計画に必要な資源(人的、物的、財務)を用意する。</li> <li>・定期的に環境経営システム、方針、目標の見直しを行う。</li> </ul>
<p>2.環境管理責任者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・代表者に代わり環境経営システムを構築・運用し、取組結果を確認・評価し代表者に報告する。</li> <li>・環境経営システムに関する記録を管理、保存する。</li> <li>・教育・訓練の実施の年間計画の策定、社内外における環境コミュニケーションのとりまとめ。環境上の緊急事態への対応策を定め、そのための準備や訓練の実施の管理、環境関連文書及び記録の作成・整理を行う。</li> <li>・代表者に代わり環境経営システム全体の構築・運用に必要な権限を持つ。</li> </ul>
<p>3.EA21事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境管理責任者を補佐し、EA21活動の全社・各部門の推進をおこなう。</li> </ul>
<p>4.リーダー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各担当部門における環境活動を率先して行い、環境目標及び環境活動計画の実施と結果の報告を行う。</li> <li>・各担当部門での環境負荷の低減に努める。</li> </ul>
<p>5.各担当者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各担当部門の環境活動を率先して行う。</li> <li>・担当環境作業を実施し結果をチェックし記録を取り、リーダーに報告する。</li> </ul>



### 3. 環境目標

・当社では、現在の事業活動をふまえて、中長期目標を設定しました。

項目	サイト	単位	基準値	単年度目標	目標			
			平成27・28年度 (実績平均値)	平成29年度 H29.8～29.10	平成29年度 H29.11～30.6	平成30年度	平成31年度	
1 二酸化炭素排出量の削減	事務所 + 現場	t-CO2	960	238	635	941	931	
								①電気使用量の削減
	②ガソリン使用量の削減	事務所	L	25,044	6,198	16,529	24,543	
	③軽油使用量の削減	現場	L	329,030	81,435	217,160	322,449	319,159
	2 廃棄物排出量の削減	事務所	kg	1,700	421	1,122	1,666	1,649
①一般廃棄物排出量の削減								
3	水使用量の削減	全社	節水に努める	節水に努める	節水に努める	節水に努める	節水に努める	
4	グリーン購入の推進							
	①事務用品	事務所	品目数	現状調査を行う	現状調査を行う	購入推進	購入推進	購入推進
	②再生建設資材	現場	% (再生資材)	再生資材を積極的に進める	再生資材を積極的に進める	再生資材を積極的に進める	再生資材を積極的に進める	再生資材を積極的に進める
4	環境への配慮した重機の使用	現場	%	効率的な収集作業を行う	効率的な収集作業を行う	効率的な収集作業を行う	効率的な収集作業を行う	効率的な収集作業を行う
5	地域活動の推進	事務所	回	年2回道路の清掃及び除草作業を行う	年2回道路の清掃及び除草作業を行う	年2回道路の清掃及び除草作業を行う	年2回道路の清掃及び除草作業を行う	年2回道路の清掃及び除草作業を行う

- 1 二酸化炭素排出量における購入電力の排出係数は、九州電力(株)の平成27年度調整後排出係数(0.598kg-CO2/kWh)を用いた
- 2 目標値は基準値に対して1%減とする。
- 3 化学物質については、事業活動での使用実績がないため目標から除外している。
- 4 水使用量については、井戸水使用のため使用実績数量が不明のため目標値を記載していない。

### 3. 環境目標

・当社では、現在の事業活動をふまえて、中長期目標を設定しました。

項目	サイト	単位	基準値	単年度目標	目標			
			平成27・28年度 (実績平均値)	平成29年度 H29.8～29.10	平成29年度 H29.11～30.6	平成30年度	平成31年度	
1	二酸化炭素排出量の削減	事務所 +	t-CO2	960	238	635	941	931
		現場						
	①電気使用量の削減	事務所 +	kWh	73,085	18,089	48,236	71,623	70,892
		現場						
	②ガソリン使用量の削減	事務所	L	25,044	6,198	16,529	24,543	24,293
③軽油使用量の削減	現場	L	329,030	81,435	217,160	322,449	319,159	
2	廃棄物排出量の削減							
	①一般廃棄物排出量の削減	事務所	kg	1,700	421	1,122	1,666	1,649
	②産業廃棄物排出量の削減 (リサイクル率の向上)	現場	% (リサイクル率)	18%	年間 19%	19%	20%	21%
3	水使用量の削減	全社		節水に努める	節水に努める	節水に努める	節水に努める	節水に努める
4	グリーン購入の推進							
	①事務用品	事務所	品目数	現状調査を行う	現状調査を行う	購入推進	購入推進	購入推進
	②再生建設資材	現場	% (再生資材)	再生資材を積極的に進める	再生資材を積極的に進める	再生資材を積極的に進める	再生資材を積極的に進める	再生資材を積極的に進める
4	環境への配慮した重機の使用	現場	%	効率的な収集作業を行う	効率的な収集作業を行う	効率的な収集作業を行う	効率的な収集作業を行う	効率的な収集作業を行う
5	地域活動の推進	事務所	回	年2回道路の清掃及び除草作業を行う	年2回道路の清掃及び除草作業を行う	年2回道路の清掃及び除草作業を行う	年2回道路の清掃及び除草作業を行う	年2回道路の清掃及び除草作業を行う

- 1 二酸化炭素排出量における購入電力の排出係数は、九州電力㈱の平成27年度調整後排出係数(0.598kg-CO2/kWh)を用いた
- 2 目標値は基準値に対して1%減とする。。
- 3 化学物質については、事業活動での使用実績がないため目標から除外している。
- 4 水使用量については、井戸水使用のため使用実績数量が不明のため目標値を記載していない。

#### 4.平成29年度 環境活動計画

・環境目標を達成する為に策定した環境活動計画は以下のとおりです。

項目	サイト	責任者	取組内容	
二酸化炭素排出量の削減				
1	①電気使用量の1%削減	事務所 現場	深川	①不要な照明の消灯(無駄な残業を行わない) ②OA機器不使用時には電源OFF ③室内温度の運転適正(夏は28℃、冬は23度に設定) ④室温管理の為に温度計を設置する ⑤OA機器は、エネルギー効率の高い機器を導入する
	②ガソリン使用量の1%削減	事務所 現場	浦川	①アイドリングを少なくする ②アクセル操作はゆっくり優しくをこころがける ③下り坂ではエンジンブレーキを有効に使用する ④小まめにタイヤの空気圧をチェックする ⑤法定速度を遵守し、空ぶかしなど行わない
	③軽油使用量の1%削減	現場	西田	①アイドリングを少なくする ②建設機械の作業は過剰な負担をかけない ③作業内容に応じたアクセルの調整を行う ④無駄や無理のない運転を行う ⑤施工方法・使用機械の見直しを行い、工期短縮及び効率的な方法を検討する ⑥各現場毎、各機械の燃料消費量を管理する
廃棄物排出量の削減				
2	①一般廃棄物排出量の削減(現状把握)	事務所	深川	①裏面紙を積極的に利用し、両面コピー・縮小コピーを利用する ②弁当空・ペットボトル・空き瓶・空き缶は持ち帰る ③分別回収BOXを設置する ④ゴミの分別の徹底 ⑤日々の一般廃棄物の測定
	②産業廃棄物排出量の削減(リサイクル率20%)	現場	岡島	①法律に基づき適正処理を行いマニフェストにより管理する ②下請け業者へのリサイクル教育の徹底 ③現場で発生した廃棄物を混合廃棄物としない ④現場で発生した廃棄物は分別を徹底する ⑤分別回収BOXを設置する
グリーン購入の推進				
3	①事務用品(現状把握)	事務所	深川	①コピー用紙等の再生紙への転換を図る ②グリーン購入マーク用品を優先的に購入する ③グリーン購入マーク用品を把握する
	②再生建設資材(再生資材調達)	現場	岡島	①再生材料から作られた資材を優先して使用する ②再生材料からなる資材を把握する
4	環境に配慮した重機の使用 (現場使用率74%)	現場	西田	①燃料消費量の少ない機械を使用する ②低騒音型・低振動型の建設機械を使用する ③環境に配慮した重機の購入 ④第二次基準値排出ガス対策型以上の重機の使用
5	地域環境保全活動への参加 (愛護団体活動、ボランティア活動) (年2回)	事務所	野田	①ボランティア活動へ参加する ②愛護団体活動へ参加する

## 6. 環境活動計画及びその取組結果とその評価、次年度の取組み内容

・環境目標を達成する為に策定した環境活動計画の結果、次年度の取組は以下のとおりです。

項目	サイト	責任者	取組内容	実施状況	評価及び次年度の内容		
1	二酸化炭素排出量の削減						
	①電気使用量の1%削減	事務所現場	深川	①不要な照明の消灯(無駄な残業を行わない)	○	電気使用量削減の取組は概ね良好であった。OA機器は更新時に省エネ機器を選択していく。取組は次年度も継続していく。	
				②OA機器不使用時には電源OFF	○		
				③室内温度の運転適正(夏は28℃、冬は23度に設定)	○		
				④室温管理の為に温度計を設置する	○		
				⑤OA機器は、エネルギー効率の高い機器を導入する	△		
	②ガソリン使用量の1%削減	事務所現場	浦川	①アイドリングを少なくする	○	車両の燃料削減のため、教育訓練を行い、点検整備、エコドライブに取り組んだ。次年度も取組を継続する。	
				②アクセル操作はゆっくり優しくをこころがける	○		
				③下り坂ではエンジンブレーキを有効に使用する	○		
④小まめにタイヤの空気圧をチェックする				○			
⑤法定速度を遵守し、空ぶかしなど行わない				○			
③軽油使用量の1%削減	現場	西田	①アイドリングを少なくする	○	運搬車のエコドライブ運転、重機のアイドリングストップに取り組んだ。施工方法・機器の直しについては今後も検討を行い、燃料使用量の削減に努めていく。次年度も取組を継続する。		
			②建設機械の作業は過剰な負担をかけない	○			
			③作業内容に応じたアクセルの調整を行う	○			
			④無駄や無理のない運転を行う	○			
			⑤施工方法・使用機械の見直しを行い、工期短縮及び効率的な方法を検討する	△			
			⑥各現場毎、各機械の燃料消費量を管理する	○			
2	廃棄物排出量の削減						
	①一般廃棄物排出量の削減(現状把握)	事務所	深川	①裏面紙を積極的に利用し、両面コピー・縮小コピーを利用する	○	概ね分別ができた	
				②弁当空・ペットボトル・空き瓶・空き缶は持ち帰る	○		
				③分別回収BOXを設置する	○		
				④ゴミの分別の徹底	○		
				⑤日々の一般廃棄物の測定	○		
	②産業廃棄物排出量の削減(リサイクル率20%)	現場	岡島	①法律に基づき適正処理を行い manifestsにより管理する	○	各自リサイクルに対する取り組みが浸透してきた	
②下請け業者へのリサイクル教育の徹底				○			
③現場で発生した廃棄物を混合廃棄物としない				○			
④現場で発生した廃棄物は分別を徹底する				○			
⑤分別回収BOXを設置する				○			
3	グリーン購入の推進						
	①事務用品(現状把握)	事務所	深川	①コピー用紙等の再生紙への転換を図る	○	できる限りグリーン購入用品を優先的に購入することができた	
				②グリーン購入マーク用品を優先的に購入する	○		
				③グリーン購入マーク用品を把握する	○		
	②再生建設資材(再生資材調達)	現場	岡島	①再生材料から作られた資材を優先して使用する	○	再生材を優先して使用した	
②再生材料からなる資材を把握する				○			
4	環境に配慮した重機の使用(現場使用率74%)		現場	西田	①燃料消費量の少ない機械を使用する	○	重機車両のアイドリングストップ運動を指導した
	②低騒音型・低振動型の建設機械を使用する	○					
	③環境に配慮した重機の購入	○					
	④第二次基準値排出ガス対策型以上の重機の使用	○					
5	地域環境保全活動への参加(愛護団体活動、ボランティア活動)(年2回)		事務所	野田	①ボランティア活動へ参加する	○	月1回市道のごみ拾いを行った
	②愛護団体活動へ参加する	○					

○良好 △さらなる取組が必要 ×取組の改善が必要

## 7.環境関連法規等の遵守状況の確認及び違反、訴訟等の有無

当社の事業活動、製品およびサービスに適用される環境関連法規等は次のとおりである。

適用される法規等	遵守内容
廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (清掃法)	収集運搬基準の遵守、処分基準の遵守、管理表の維持・ 管理、保管の遵守 最終処分場の維持管理基準の遵守
悪臭防止法	規制基準の順守
消防法	危険物保管限度の遵守、消火器の使用期限の確認

10月31日に上記の環境関連法規等の遵守状況を確認・評価した結果、違反はありませんでした。

また、関係機関等からの指摘、利害関係者からの訴訟もありませんでした。

## 8. 代表者による全体評価と見直し結果

従業員の環境に対する取り組みについては、少しずつであるが理解することができたと思う。今後もっと指導をしていき、CO2の削減に努力していきたい。